

令和5年度第2回鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会

日 時	令和5年11月2日(木) 13:30~14:50
場 所	鹿児島市水道局 5階 大会議室
出席者	鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員8名
市出席者	水道事業及び公共下水道事業管理者、総務部長、水道部長、下水道部長、水道局各課長、関係職員
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 管理者あいさつ</li> <li>3 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 水道事業、公共下水道事業及び工業用水道事業の令和4年度決算</li> <li>(2) 第2期鹿児島市上下水道事業経営計画の掲げる取組事項の令和4年度実施状況</li> <li>(3) 河頭浄水場(甲系統の浄水施設)更新基本計画(素案)に係るパブリックコメント手続の実施結果等について</li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
主な内容等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業の令和4年度決算で、営業費用増の主な要因となっている動力費の上昇への対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 浄水場では、電力料金の節減のため、より安い夜間料金の活用と、浄水単価が安く動力費の面でより有利な滝之神浄水場と河頭浄水場の水をできるだけ多く供給する水運用などの取組みを行っている。</li> <li>下水処理場では、浄水場と同様に料金の安い時間帯に可能な範囲でより多くの汚水を処理する取組みや、汚水の流入状況にあわせた小まめな機器運転の実施などを行っている。</li> </ul> </li> <li>2. 水道事業の老朽化及び耐震化に係る計画の4年度の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 水道管路の老朽化対策については、水道管路更新計画に基づき、4年度は20,308mの更新を行った。当初計画では、21,900mを更新する予定であったが、年度内に工事が完了せずに5年度へ繰越となった工事があり、その分を含めると4年度の実施状況はほぼ計画通りであった。</li> <li>耐震化事業については、計画どおりに進んでおり、4年度の耐震化率は52.4%である。また、令和3年度の耐震化率は、全国平均は41.2%、本市は52.1%であり、全国平均より高くなっている。</li> </ul> </li> <li>3. 水道施設の統廃合に係るPPP/PFI導入可能性調査について <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 4年度に実施した、郡山地域の送水施設の統廃合に係るPPP/PFI導入可能性調査では、全体にかかる事業費の軽減が十分見込めるという結果がでた。また、民間の意向調査も行ったところ検討したいという意見をいただいた。このことから、PPP/PFI検討会にかけ、引き続き官民連携で事業推進に取り組むことを確認している。</li> </ul> </li> <li>4. 上下水道事業の有事への備えについて <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 浄水場について、「国民保護法」、「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」に基づき整備を行っている。</li> </ul> </li> </ol>